

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 3月 22日

事業所名 たいむクラブ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			利用者数・活動内容に応じて支援室を分けるなどの対応を行っている
	2 職員の配置数は適切である	○			利用者数、利用者の状況に応じて配置を考えている
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			余裕を持った配置にし、動線の妨げにならないようにしている
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			情報を共有するように、声掛け、話し合いを行っている
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者の意見には十分に耳を傾けるようにしている
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページにて公開している
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	外部からの評価を重視できるように、今後検討していきます
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			定期的につ研修を行い、支援への理解を深め、向上心を養っている	
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			保護者のニーズをしっかりと受け止め作成する
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			課題の目安としている
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			利用者それぞれの課題を考慮しながらプログラムを考えている
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			様々な分野を取り入れている
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			利用者数などに応じ、支援を考えている
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			利用者の状況に合わせての計画を考えている
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			声掛けをし、確認し合うようにしている 当日スケジュールを活用している
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			振り返りを行い、細々な点でも共有し次回の支援につなげている
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			業務日報・E日誌に記載する
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			個々の状況に応じた計画を常に見直しながら行う	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			参考にし、支援している	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		必要に応じ、児童発達支援管理者の適任者が出席しています
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		送迎時には担任からの申し送りを確認する。状況に応じ相談・ケース会議を行う
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		保護者より情報をもらい、必要に応じて連携をとる
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		情報共有に努める
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		サービス担当者会議を設け、事業所・学校・相談支援で情報を共有しています
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		連携が取れるようにしている 研修に参加している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	機会を持ち、理解を得られるように考えている
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○	参加できるように努めていきます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時には積極的に言葉を交わし、情報共有に努めている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者とのコミュニケーションを常に心掛け、状況に応じ支援を行う
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者の言葉に耳を傾けるよう努めている。また、家庭訪問による相談等を実施しています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者同士で関わられるような機会を、今後検討していきます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子供や保護者からのご要望に対し、常に耳を傾け、適切な対応を心掛けている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		利用予定表にてお知らせしています。また、ホームページ、SNS等を通して情報発信している。
	35	個人情報に十分注意している	○		十分な配慮をしている。（鍵付きロッカーで管理）
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		適時、適応した対応ができるよう心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		バザー等のイベントを実施しています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		研修等を通し、緊急時にも対応できるようにしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		非常時対策として定期的な訓練・確認を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を通し、理解や防止につながる対応を心掛けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		利用者の安全を考慮したうえで判断し、適切な対応を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者との情報共有元に、対応を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		情報共有により、危険回避につなげている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。